



第4回苫小牧市

多文化共生指針策定準備会議



【次第】

1. 今年度事業の進捗共有・最新外国人住民状況
2. 多文化共生市民アンケートの結果について
3. 令和6年度多文化共生指針策定の進め方について
4. 【意見交換】今年度の振り返りと次年度の活動
5. その他



1. 今年度事業の進捗共有

最新外国人住民状況

苫小牧市多文化共生指針策定に向けた流れ



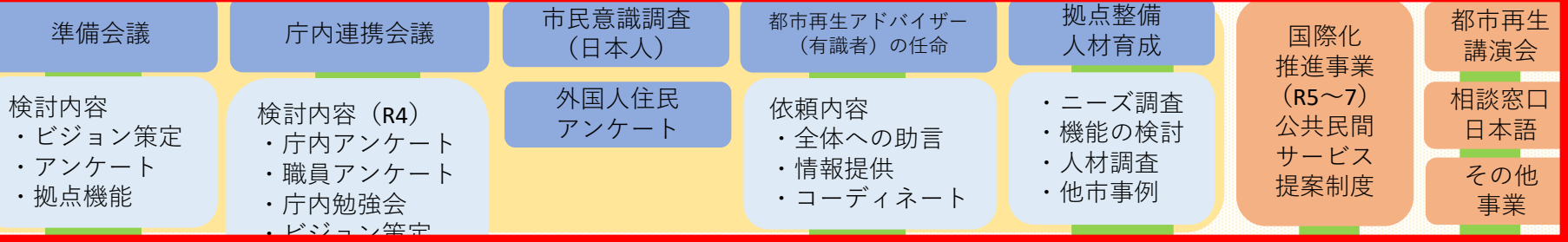
背景：本市における在住外国人は、急増している。また、国籍・在留資格の多様化や人材不足の観点から働く外国人の増加が見られる。
 目的：都市再生コンセプトプランを具現化し、本市の課題解決と成長戦略の一つとして、外国人材活躍社会の実現と地域の生活者として「日常的に」外国人と日本人が共生する社会のあり方を示した「苫小牧市多文化共生指針」を令和6年度に策定するもの。

R4
年度

- 多文化共生事業の立ち上げ（国際化推進事業・都市再生講演会・北海道モデル事業・厚生労働省モデル事業など）
- 多文化共生に関する各調査（外国人雇用事業者向けアンケート及びヒアリング・北洋大学留学生向けアンケート）
- やさしい日本語・多言語による行政・生活情報誌作成事業
- その他（国際化推進事業公共サービス民間提案制度R5～7事業者決定・外国人相談窓口・日本語教室運営）

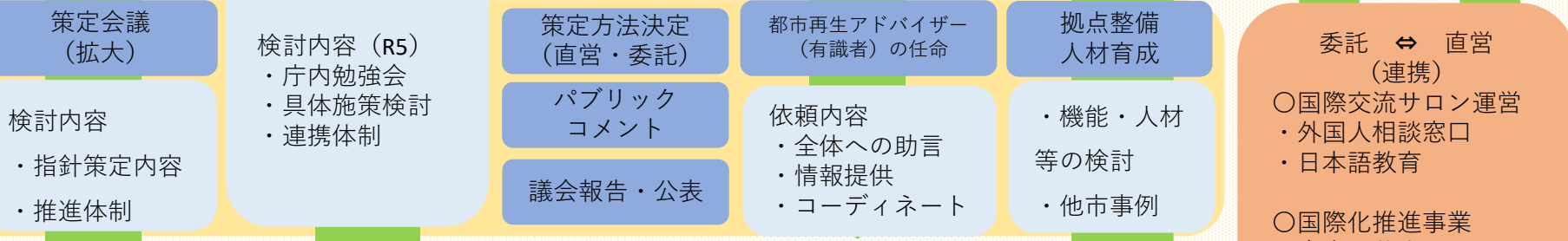
R5
年度

ビジョン
の策定
(冬頃)



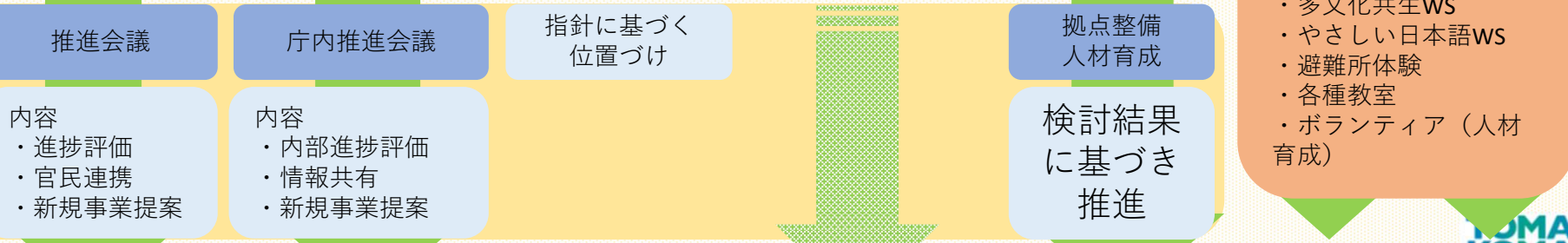
R6
年度

指針
の策定



R7
年度

指針
の推進



全体のスケジュール



現在

指針策定に向けた 事前整備事業	R5年度 (2023)												R6年度 (2024)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
指針策定準備会議	会議設置	第1回 5/22		第2回 7/24			第3回 10/23				第4回 2月8日		
		・委員委嘱 ・課題の共有 ・取組の方向性の共有 ・スケジュールの共有		・多文化共生ビジョンの素案について ・多文化共生アンケート案について (外国人向け・日本人向け)			・今年度事業の進捗について ・多文化共生ビジョン案について ・多文化共生に関する拠点機能について				・多文化共生アンケートの結果報告 ・【意見交換】今年度の振り返りと次年度の活動について ・令和6年度事業について		
アンケート調査 (外国人住民向け)		先行調査	手法の検討 事務局案の決定		内容の決定 翻訳作業 対象世帯の抽出		アンケート配布 回収作業		翻訳・集計作業		報告		現状・課題の分析
アンケート調査 (日本人住民向け)		先行調査	手法の検討 事務局案の決定		内容の決定 対象世帯の抽出				集計作業				
多文化共生ビジョン		先行調査	構成の検討 ビジョンの素案の作成		素案の修正作業 第3回会議に向けた案作成				ビジョン案内部照会・確認 ビジョン案の最終確認			委員会報告 公表	
庁内会議	第1回 4/22 設置	第2回 5/22						第3回			第4回 (予定)		
	多文化共生指針策定について	外国人住民の現況 相談窓口・既存調査 からみる課題の共有						・多文化共生ビジョン案の 意見集約について			・多文化共生アンケートの結果共有 ・令和6年度事業について		
庁内勉強会		第1回 管理職向け	「指針策定に向けて各課で取り 入れる視点について」				第2回 一般職向け	「これからの時代に求められる外国人対応について」 「外国人市民から見た苫小牧の生活」					
その他	生活ガイドブック 完成・展開		庁内アンケート実施	拠点整備に向けた先行調査					多文化共生指針骨子案検討作業		都市再生講演会 (多文化共生)		
			職員アンケート実施	次年度事業に向けた予算検討					次年度事業検討作業				
国際化推進事業 (予定)	ホームページ 公開		国際交流サロン LINE再構築	やさしい日本語 ワークショップ	避難所体験			オンライン 事業	冬のオリエン テーション	子ども向け事業	英語・中国語 教室		
			英語・中国語教室										

苫小牧市の外国人住民状況



- 外国人住民数 1,379人 (R5.12末)
- 人口の 約0.83%
- (市の人口 **166,846人**)

外国人住民の推移 (令和5年)

	R4.12.31	R5.1.31	R5.2.28	R5.3.31	R5.4.30	R5.5.31	R5.6.30	R5.7.31	R5.8.31	R5.9.30	R5.10.31	R5.11.30	R5.12.31
市の人口	168,299	168,187	168,055	167,503	167,457	167,502	167,399	167,373	167,301	167,143	167,106	167,018	166,846
外国人住民数	1,019	1,027	1,028	1,037	1,102	1,163	1,182	1,184	1,197	1,240	1,355	1,381	1,379
外国人割合	0.61%	0.61%	0.61%	0.62%	0.66%	0.69%	0.71%	0.71%	0.72%	0.74%	0.81%	0.83%	0.83%

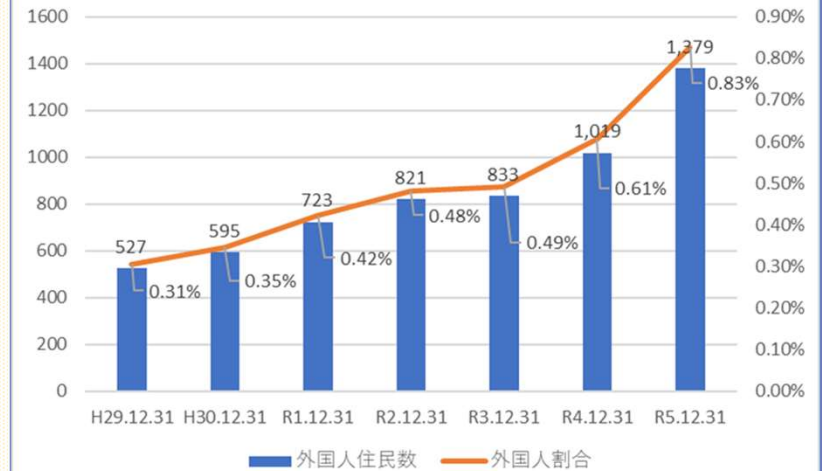
外国人住民の推移 (過去6年)

	H29.12.31	H30.12.31	R1.12.31	R2.12.31	R3.12.31	R4.12.31	R5.12.31
市の人口	172,373	171,811	171,242	170,205	169,528	168,299	166,846
外国人住民数	527	595	723	821	833	1,019	1,379
外国人割合	0.31%	0.35%	0.42%	0.48%	0.49%	0.61%	0.83%

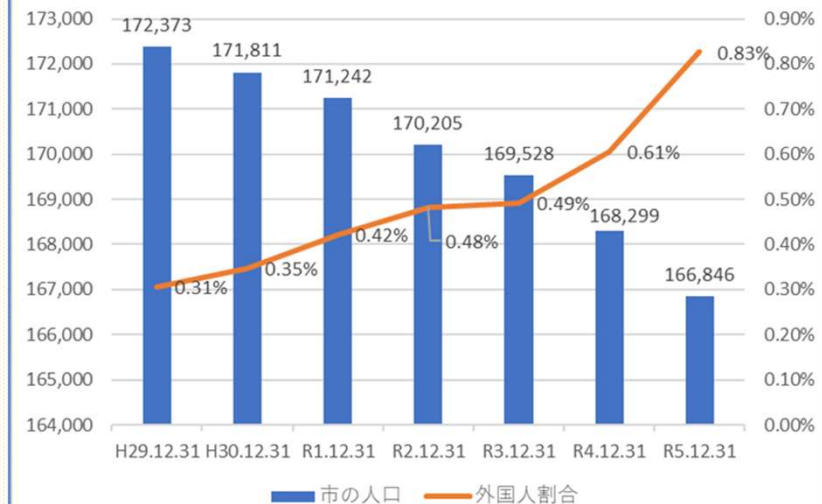
外国人割合の予測 (2022年末時点の予測)

予測 (苫小牧市)	2022年		2025年	2030年
外国人数	1,019	⇒	<u>1,705</u>	<u>4,021</u>
外国人割合	0.61%	⇒	<u>1.02%</u>	<u>2.41%</u>

苫小牧市外国人住民数と割合の推移



苫小牧市人口と外国人割合の推移



2017~2022年の前年比増加率：平均19%増が続いた場合の予測値

(コロナ禍の影響が大きい2019~2021年のデータを除く)

6

北海道内の外国人住民の状況（令和5年12月末日）



人口順			外国人住民数順			外国人割合順		
	全道	5,094,487 人		全道	54,943 人		全道	1.08%
1	札幌市	1,957,025 人	1	札幌市	17,884 人	1	占冠村	33.86%
2	旭川市	320,437 人	2	倶知安町	2,795 人	2	赤井川村	28.37%
3	函館市	240,281 人	3	函館市	1,626 人	3	留寿都村	18.71%
4	<u>苫小牧市</u>	<u>166,855 人</u>	4	旭川市	1,576 人	4	倶知安町	16.93%
5	帯広市	162,495 人	5	<u>苫小牧市</u>	<u>1,380 人</u>	5	ニセコ町	16.78%
6	釧路市	157,555 人	6	帯広市	1,280 人	6	猿払村	6.83%
7	江別市	118,695 人	7	釧路市	1,116 人	7	東川町	5.84%
8	北見市	111,754 人	8	千歳市	1,094 人	8	雄武町	5.57%
9	小樽市	106,509 人	9	江別市	950 人	9	佐呂間町	4.88%
10	千歳市	98,002 人	10	ニセコ町	919 人	10	新冠町	4.65%
							<u>苫小牧市</u>	<u>0.83%</u>

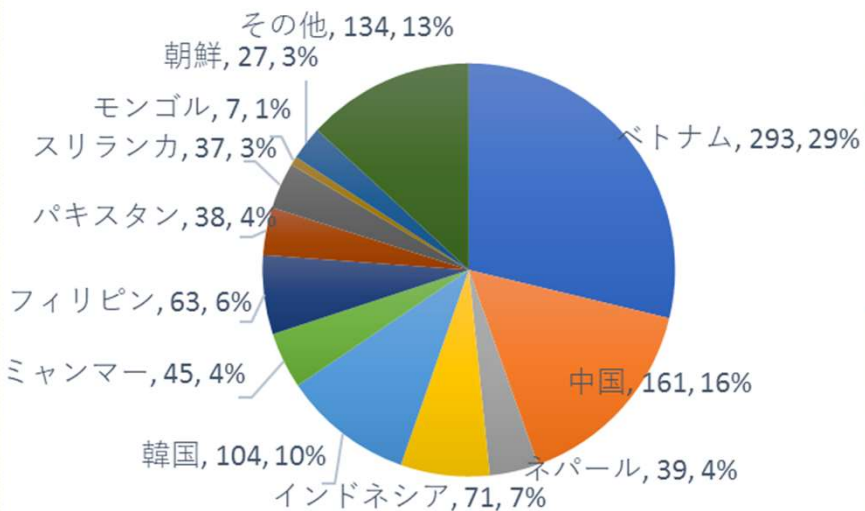
「この情報は北海道のオープンデータを改変して利用しています」

- 外国人住民数や割合は地域によってばらつきがある
- 苫小牧市は外国人住民数で全道上位であるが、割合としては低い

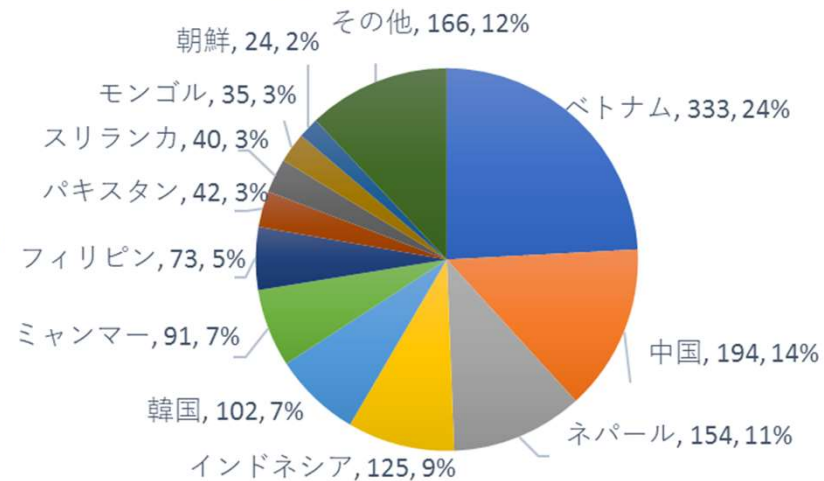
苫小牧市の外国人住民の推移（国籍別・在留資格別）



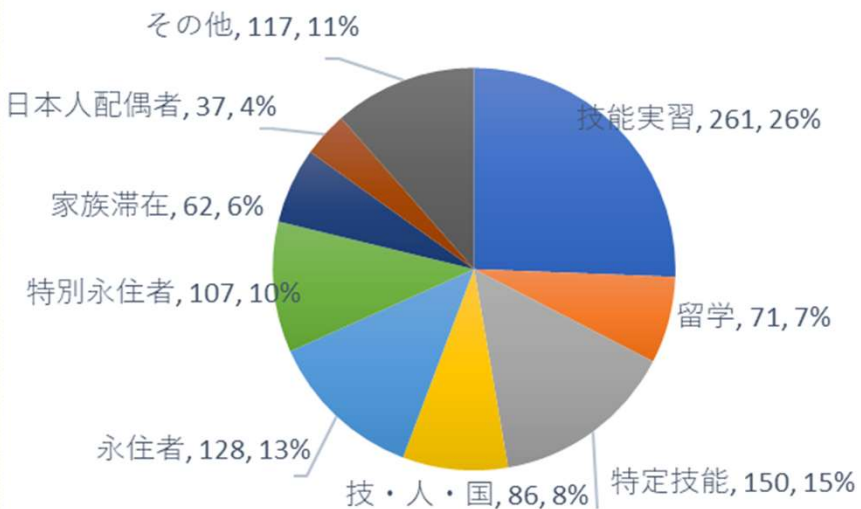
国籍別割合（R4.12末）



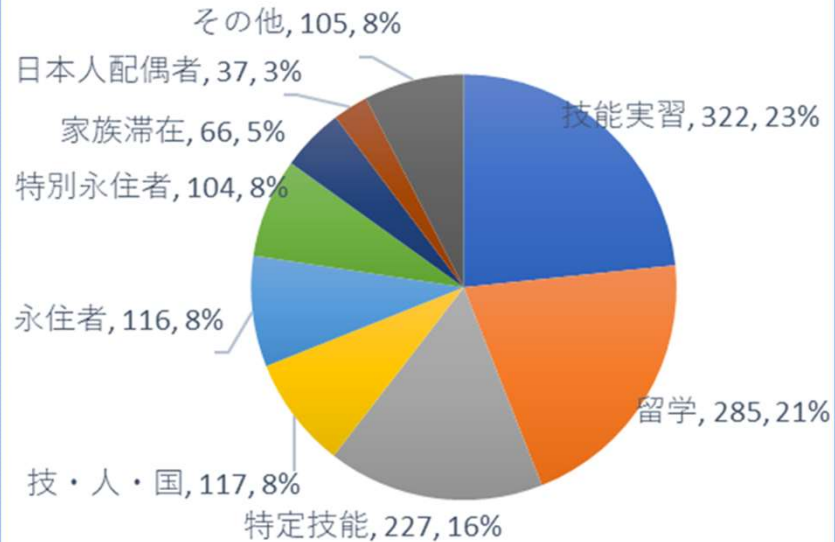
国籍別割合（R5.12末）



在留資格別割合（R4.12末）



在留資格別割合（R5.12末）



苫小牧市の外国人住民の推移（国籍別・在留資格別）



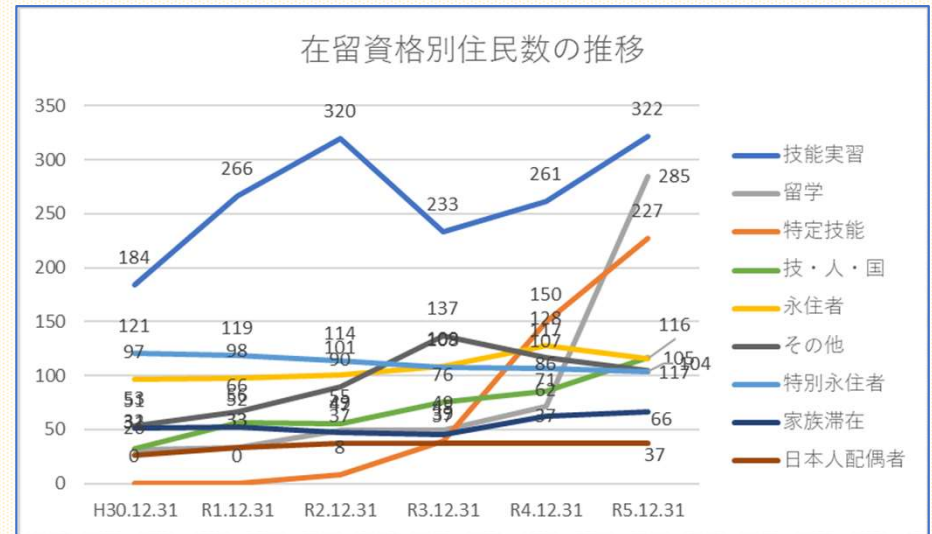
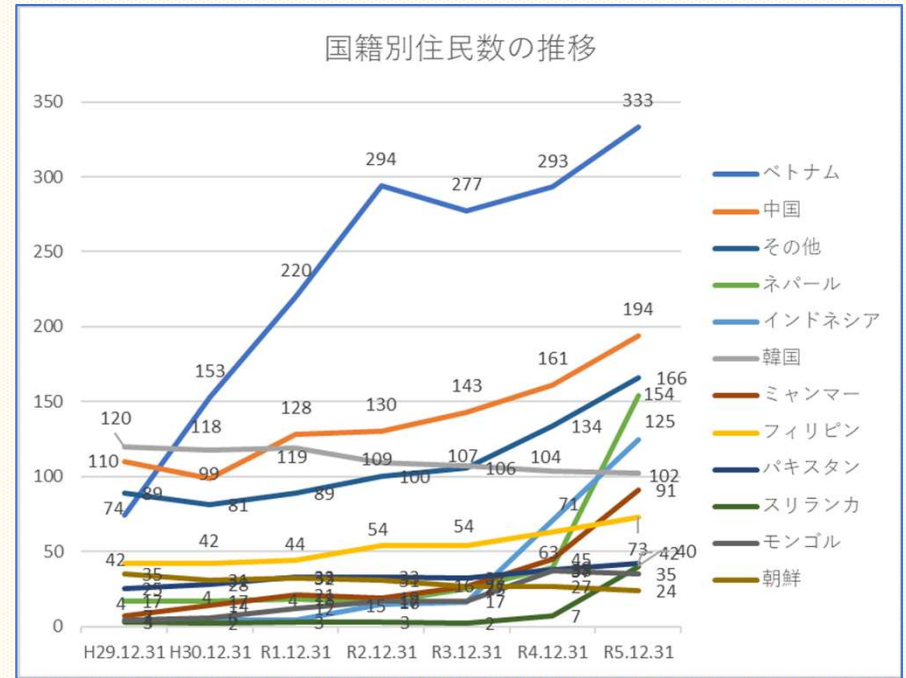
国籍別	R4.12.31	R5.1.31	R5.2.28	R5.3.31	R5.4.30	R5.5.31	R5.6.30	R5.7.31	R5.8.31	R5.9.30	R5.10.31	R5.11.30	R5.12.31
ベトナム	293	291	294	286	312	312	307	303	303	312	319	325	333
中国	161	160	161	167	170	169	169	163	161	184	182	199	194
ネパール	39	40	40	40	51	84	98	99	101	103	152	155	154
インドネシア	71	81	78	76	76	86	89	97	103	113	136	131	125
韓国	104	104	103	103	104	104	104	106	107	107	107	106	102
ミャンマー	45	45	47	54	65	68	75	75	81	76	88	88	91
フィリピン	63	64	60	62	63	64	65	67	66	72	70	72	73
パキスタン	38	40	40	38	39	41	42	42	44	44	45	42	42
モンゴル	37	34	33	32	32	35	35	33	35	35	37	38	40
スリランカ	7	7	7	8	13	20	20	20	19	20	35	35	35
朝鮮	27	27	27	27	27	26	26	26	25	25	25	25	24
その他	134	134	138	144	150	154	152	153	152	149	159	165	166
計	1,019	1,027	1,028	1,037	1,102	1,163	1,182	1,184	1,197	1,240	1,355	1,381	1,379

在留資格別	R4.12.31	R5.1.31	R5.2.28	R5.3.31	R5.4.30	R5.5.31	R5.6.30	R5.7.31	R5.8.31	R5.9.30	R5.10.31	R5.11.30	R5.12.31
技能実習	261	253	247	240	249	262	281	282	296	310	318	316	322
留学	71	68	68	67	98	146	166	163	161	188	268	288	285
特定技能	150	168	170	178	183	183	187	192	192	193	215	219	227
技・人・国	86	87	88	95	95	93	96	98	101	105	112	117	117
永住者	128	128	128	131	129	128	127	124	123	123	121	121	116
特別永住者	107	107	108	108	109	108	108	108	107	108	108	107	104
家族滞在	62	61	64	59	61	63	58	60	61	61	64	64	66
日本人配偶者	37	36	37	36	37	37	38	38	38	37	36	36	37
その他	117	119	118	123	141	143	121	119	118	115	113	113	105
計	1,019	1,027	1,028	1,037	1,102	1,163	1,182	1,184	1,197	1,240	1,355	1,381	1,379

苫小牧市の外国人住民の推移（国籍別・在留資格別）



	H29.12.31	H30.12.31	R1.12.31	R2.12.31	R3.12.31	R4.12.31	R5.12.31
市の人口	172,373	171,811	171,242	170,205	169,528	168,299	166,846
外国人住民数	527	595	723	821	833	1,019	1,379
外国人割合	0.31%	0.35%	0.42%	0.48%	0.49%	0.61%	0.83%
ベトナム	74	153	220	294	277	293	333
中国	110	99	128	130	143	161	194
ネパール	17	17	18	16	25	39	154
インドネシア	4	4	4	15	16	71	125
韓国	120	118	119	109	107	104	102
ミャンマー	7	14	21	19	27	45	91
フィリピン	42	42	44	54	54	63	73
パキスタン	25	28	33	33	32	38	42
スリランカ	3	2	3	3	2	7	40
モンゴル	4	6	12	17	17	37	35
朝鮮	35	31	32	31	27	27	24
朝鮮・韓国	—	—	—	—	—	—	—
その他	89	81	89	100	106	134	166
計	527	595	723	821	833	1,019	1,379
技能実習	—	184	266	320	233	261	322
留学	—	31	33	49	49	71	285
特定技能	—	0	0	8	39	150	227
技・人・国	—	32	56	55	76	86	117
永住者	—	97	98	101	109	128	116
特別永住者	—	121	119	114	108	107	104
家族滞在	—	51	52	47	45	62	66
日本人配偶者	—	26	33	37	37	37	37
その他	—	53	66	90	137	117	105
計	—	595	723	821	833	1,019	1,379



苫小牧市の外国人住民の特徴（国籍×在留資格）



	R5.12.31	主な在留資格（10名以上）
ベトナム	333	技能実習201 特定技能97 技・人・国12
中国	194	留学90 永住者44 技・人・国18 家族滞在12
ネパール	154	留学113 家族滞在18 技・人・国10
インドネシア	125	特定技能83 技能実習31
韓国	102	特別永住者80 永住者13
ミャンマー	91	特定技能29 技能実習26 留学20
フィリピン	73	技能実習32 永住者18
パキスタン	42	家族滞在16 技・人・国15
スリランカ	40	留学23
モンゴル	35	技能実習22
朝鮮	24	特別永住者24
その他	166	
計	1,379	
	R5.12.31	主な国籍（10名以上）
技能実習	322	ベトナム201 フィリピン32 インドネシア31 ミャンマー26 モンゴル22
留学	285	ネパール113 中国90 スリランカ23 ミャンマー20 バングラデシュ16
特定技能	227	ベトナム97 インドネシア83 ミャンマー29
技・人・国	117	中国18 パキスタン15 ベトナム12 ネパール10
永住者	116	中国44 フィリピン18 韓国13
特別永住者	104	韓国82 朝鮮25
家族滞在	66	ネパール18 パキスタン16 中国12
日本人配偶者	37	
その他	105	
計	1,379	

【国籍別に見た在留資格】

- ・国籍により在留資格の特徴は様々である

【在留資格別に見た国籍】

- ・技能実習・特定技能が多い
⇒まだ単身者が多いフェーズ



今後、家族滞在も含め多様な在留の形が想定

地方公共団体の人口に占める外国人人口の割合（総務省資料）



地方公共団体の人口に占める外国人人口の割合（上位20市区町村）

○人口に占める外国人割合上位20市区町村

順位	都道府県	自治体名	全人口 (2023.1.1) (A)	外国人人口 (2022.12.31) (B)	外国人割合 (B/A)
1	北海道	勇払郡占冠村	1,073	321	29.92%
2	群馬県	邑楽郡大泉町	33,514	8,215	24.51%
3	東京都	新宿区	306,000	40,279	13.16%
4	北海道	虻田郡倶知安町	13,971	1,665	11.92%
5	北海道	余市郡赤井川村	992	114	11.49%
6	埼玉県	蕨市	67,536	7,746	11.47%
7	東京都	豊島区	259,771	28,933	11.14%
8	北海道	虻田郡留寿都村	1,697	189	11.14%
9	岐阜県	美濃加茂市	51,618	5,602	10.85%
10	北海道	虻田郡二セコ町	4,599	489	10.63%
11	茨城県	常総市	55,648	5,914	10.63%
12	沖縄県	国頭郡恩納村	10,232	1,066	10.42%
13	東京都	荒川区	197,680	19,134	9.68%
14	三重県	桑名郡木曾岬町	5,472	522	9.54%
15	岐阜県	可児市	92,235	8,377	9.08%
16	長野県	北安曇郡白馬村	8,055	727	9.03%
17	愛知県	高浜市	45,095	4,059	9.00%
18	愛知県	碧南市	66,795	5,850	8.76%
19	長野県	南佐久郡南牧村	2,791	244	8.74%
20	神奈川県	愛甲郡愛川町	36,454	3,147	8.63%

○外国人人口増加率上位20市区町村(2017年→2022年)

順位	都道府県	自治体名	外国人人口 (2017.12.31) (A)	外国人人口 (2022.12.31) (B)	外国人増加率 (B/A-1)
1	熊本県	菊池市	430	1,007	134.19%
2	京都府	八幡市	1,085	2,184	101.29%
3	大分県	中津市	1,084	2,166	99.82%
4	京都府	木津川市	545	1,082	98.53%
5	北海道	苫小牧市	539	1,039	92.76%
6	沖縄県	糸満市	551	1,062	92.74%
7	福岡県	糸島市	874	1,613	84.55%
8	大阪府	富田林市	1,122	2,042	82.00%
9	大阪府	貝塚市	745	1,309	75.70%
10	兵庫県	三木市	1,316	2,300	74.77%
11	香川県	坂出市	720	1,244	72.78%
12	香川県	観音寺市	637	1,089	70.96%
13	三重県	名張市	672	1,144	70.24%
14	愛知県	津島市	1,253	2,133	70.23%
15	栃木県	日光市	821	1,378	67.84%
16	群馬県	渋川市	649	1,076	65.79%
17	宮崎県	都城市	1,119	1,845	64.88%
18	千葉県	山武市	1,036	1,700	64.09%
19	群馬県	富岡市	631	1,035	64.03%
20	福岡県	春日市	690	1,131	63.91%

(単位:人)

全国5位

※全人口は住民基本台帳、外国人人口は在留外国人統計に基づくもの。

※外国人人口増加率については、在留外国人統計で2022年12月末時点において外国人人口1,000人以上の市区町村を対象としている。



2. 多文化共生市民

アンケートの結果について

(別紙資料 参照)

多文化共生市民アンケートについて（外国人）



【目的】 指針策定に向けて、現状把握や課題抽出、目標管理のための基礎的資料の収集を目的とする

【調査対象】 1,042人（令和5年8月1日時点で、住民基本台帳に登録されている13歳以上の外国籍市民※特別永住者は除く）

【調査期間】 令和5年10月6日～10月20日

【調査方法】 回答用紙・案内は全件郵送し、回答方法はQRコード（Googleフォーム）または郵送

【言語】 ベトナム語、中国語、ネパール語、インドネシア語、英語、やさしい日本語（全件）

※対象者の国籍に応じて対象言語（該当しない場合は英語）で発送

【回答者数】 226人・（22.7%） 郵送回答147人（65.0%） オンライン回答79人（35.0%）



国籍別	対象者数	返戻数	紙	オンライン	回答者数	回答率
全体	1,042人	45人	147人	79人	226人	22.7%
ベトナム	299人	11人	52人	34人	86人	29.9%
中国	156人	6人	18人	10人	28人	18.7%
ネパール	93人	4人	7人	1人	8人	9.0%
インドネシア	100人	6人	21人	6人	27人	28.7%
その他	394人	18人	49人	26人	75人	19.9%

回答言語別	回答者数	紙	オンライン	割合
全体	226人	147人	79人	
ベトナム	54人	24人	30人	23.9%
中国	17人	9人	8人	7.5%
ネパール	8人	6人	2人	3.5%
インドネシア	16人	8人	8人	7.1%
英語	46人	32人	14人	20.4%
やさしい日本語	85人	68人	17人	37.6%

多文化共生市民アンケートについて（日本人）



【目的】 指針策定に向けて、現状把握や課題抽出、目標管理のための基礎的資料の収集を目的とする

【調査対象】 2,030人（令和5年8月1日時点で、住民基本台帳に登録されている13歳以上の市民）

市内を7つの地域に分け、地域ごとに年代・性別ごとに均等抽出（13～19歳・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上）

【調査期間】 令和5年10月6日～10月20日

【調査方法】 回答用紙・案内は全件郵送し、回答方法はQRコード（Googleフォーム）または郵送

【回答者数】 527人・（26.2％） 郵送回答405人（77％） オンライン回答122人（23％）

年齢別	対象者数	返戻数	紙	オンライン	回答者数	回答率
全体	2,030人	17人	405人	122人	527人	26.2%
10-19歳	280人	1人			54人	19.4%
20代	280人	4人			33人	11.9%
30代	294人	6人			55人	19.0%
40代	294人	2人			60人	20.5%
50代	294人	2人			93人	31.8%
60代	294人	2人			113人	38.7%
70代以上	294人	0人			119人	40.5%

- 西部西地域（小糸魚川以西の地域）
澄川町、ときわ町、美原町、のぞみ町、明德町、宮前町、青雲町、もえぎ町、錦岡、樽前、錦西町、北星町
- 西部東地域（小糸魚川から苦小牧川の間の地域）
はまなす町、川沿町、柏木町、小糸井町、しらかば町、日新町、永福町、日吉町、桜木町、光洋町、豊川町、松風町、有珠の沢町、有明町、桜坂町、宮の森町、糸井
- 中央部西地域（苦小牧川から製紙工場の間の地域）
見山町、啓北町、山手町、花園町、北光町、青葉町、大成町、新富町、元町、白金町、弥生町、矢代町
- 中央部中地域（苦小牧市の都心部の地域）
清水町、高丘、泉町、美園町、住吉町、双葉町、緑町、音羽町、三光町、日の出町、木場町、春日町、王子町、表町、幸町、本幸町、大町、本町、寿町、栄町、錦町、旭町、末広町、若草町、新中野町、元中野町、汐見町、港町、浜町、高砂町、船見町、入船町
- 中央部東地域（幌内川から明野川の間の地域）
新明町、明野新町、明野元町、新開町、柳町、晴海町、一本松町、真砂町
- 東部北地域（明野川以東鉄北の地域）
あけぼの町、北栄町、美沢、拓勇東町、拓勇西町、ウトナイ北、ウトナイ南、丸山、植苗
- 東部南地域（明野川以東鉄南の地域）
沼ノ端中央、柏原、沼ノ端、東開町、静川、弁天、勇払



3. 令和6年度多文化共生指針策定 の進め方について

苫小牧市多文化共生指針策定に向けた流れ



背景：本市における在住外国人は、急増している。また、国籍・在留資格の多様化や人材不足の観点から働く外国人の増加が見られる。
 目的：都市再生コンセプトプランを具現化し、本市の課題解決と成長戦略の一つとして、外国人材活躍社会の実現と地域の生活者として「日常的に」外国人と日本人が共生する社会のあり方を示した「苫小牧市多文化共生指針」を令和6年度に策定するもの。

R4
年度

- 多文化共生事業の立ち上げ（国際化推進事業・都市再生講演会・北海道モデル事業・厚生労働省モデル事業など）
- 多文化共生に関する各調査（外国人雇用事業者向けアンケート及びヒアリング・北洋大学留学生向けアンケート）
- やさしい日本語・多言語による行政・生活情報誌作成事業
- その他（国際化推進事業公共サービス民間提案制度R5～7事業者決定・外国人相談窓口・日本語教室運営）

R5
年度

ビジョン
の策定
(冬頃)

準備会議

- 検討内容
- ・ビジョン策定
 - ・アンケート
 - ・拠点機能

庁内連携会議

- 検討内容 (R4)
- ・庁内アンケート
 - ・職員アンケート
 - ・庁内勉強会
 - ・ビジョン策定

市民意識調査
(日本人)

外国人住民
アンケート

都市再生アドバイザー
(有識者)の任命

- 依頼内容
- ・全体への助言
 - ・情報提供
 - ・コーディネート

拠点整備
人材育成

- ・ニーズ調査
- ・機能の検討
- ・人材調査
- ・他市事例

国際化
推進事業
(R5～7)
公共民間
サービス
提案制度

都市再生
講演会

相談窓口
日本語

その他
事業

R6
年度

指針
の策定

策定会議
(拡大)

- 検討内容
- ・指針策定内容
 - ・推進体制

- 検討内容 (R5)
- ・庁内勉強会
 - ・具体施策検討
 - ・連携体制

策定方法決定
(直営・委託)

パブリック
コメント

議会報告・公表

都市再生アドバイザー
(有識者)の任命

- 依頼内容
- ・全体への助言
 - ・情報提供
 - ・コーディネート

拠点整備
人材育成

- ・機能・人材
等の検討
- ・他市事例

委託 ⇄ 直営
(連携)

- 国際交流サロン運営
- ・外国人相談窓口
- ・日本語教育

○国際化推進事業

- ・多文化共生WS
- ・やさしい日本語WS
- ・避難所体験
- ・各種教室
- ・ボランティア（人材育成）

R7
年度

指針
の推進

推進会議

- 内容
- ・進捗評価
 - ・官民連携
 - ・新規事業提案

庁内推進会議

- 内容
- ・内部進捗評価
 - ・情報共有
 - ・新規事業提案

指針に基づき
位置づけ

拠点整備
人材育成

検討結果
に基づき
推進



実施目的

都市再生CPを具現化し、本市の課題解決と成長戦略の一つとして外国人材活躍社会の実現と日常的に外国人と共生する社会の実現に向け「苫小牧市多文化共生指針」を策定する。

- 多文化共生指針策定スケジュール（予定）
 - ～10月・案の策定 11月・パブリックコメント 12月・議会報告 年明け・公表
- 多文化共生指針策定会議（5月・9月・1月の予定）
 - ・年3回の会議開催を通じ指針の内容について意見交換を行う
- 多文化共生庁内連携会議（R5継続）
 - ・指針策定に向けた課題共有と各課における施策の検討、職員向け勉強会の開催
- 都市再生アドバイザー（有識者）の任命（R5継続）
 - ・事業推進に係る助言、有識者や先進地事例紹介、コーディネート
- 苫小牧市多文化共生指針策定支援業務（事業委託）
 - ・策定支援業務として、既存調査の分析、会議等の結果を取りまとめ、成果品作成

令和6年度多文化共生に関する事業



苫小牧市多文化共生指針策定事業

令和5年度の指針策定事前整備事業を踏まえ、本市の多文化共生指針を策定するもの。

多文化共生指針策定会議

都市再生アドバイザー（有識者）の任命

庁内連携会議の実施

多文化共生指針策定支援業務

今後の方向性について議論・位置づけ（拠点議論を含む）

国際化推進事業（公共サービス民間提案制度）

多文化共生社会の形成に向け、日本人と外国人が一緒に参加する事業等の企画・実施。（R5～R7の3年採択）

相談窓口機能（LINE）の充実

子ども向け事業

ホームページ等の情報発信機能の充実

中国語・英語等の教室

多文化共生促進事業（交流事業）

ボランティア事業

国際交流サロン運営事業

在住外国人に対する地域の拠点として、相談窓口や地域日本語教室の運営を行う。

新規・強化する取組

外国人相談窓口

- ・相談員の配置
- ・映像通訳サービスの導入
- ・生活ガイドブックの展開
- ・学習型・交流型など教室機能の充実、担い手の育成に向けた検討

地域日本語教室

その他の機能

- ・多文化共生の地域づくり事業

その他事業

庁内外の各機関と事業開催やまちづくりの視点からあらゆる分野との連携。

HIECCと連携した移動相談窓口の開催

都市再生講演会の開催

北海道・国・東胆振定住自立圏との連携事業

地域の留学生・受入校との連携事業

CLAIR・HIECC・JICA・JICE等との連携事業

国際交流関係団体連絡協議会事業



4. 【意見交換】

今年度の振り返りと次年度の活動

【意見交換】今年度の振り返りと次年度の活動について



【意見交換】今年度の振り返りと次年度の活動について

○主にお話いただきたいテーマ

- ・各団体や個人においての今年度の振り返り
- ・各団体における今年度の動きや現状に関する情報共有
- ・今年度示した本市の方向性を踏まえた、各団体におけるこれからの取り組み

※すべてのテーマをお話いただかなくてかまいませんので、前向きなご意見を

お願いいたします。



5. その他



4回の会議へのご参加ありがとうございました

次年度の取り組みに向けお力添えをお願いいたします